

カンキツにおける高品質果実安定生産技術 シールディング・マルチ栽培の標準作業手順書

ウンシュウミカンなどのカンキツは、高糖度でほどよい酸味の果実を高品質果実としてブランド化しています。適度な乾燥ストレス状態で栽培すると果実糖度が高まるため、マルチ栽培で土壌水分を制御して高品質果実を生産する方法がありますが、多雨やマルチ外への根の伸長などで水分制御が不十分となる事例が多く問題となっています。そこで農研機構果樹茶業研究部門では、従来のマルチ栽培の問題点を改善したシールディング・マルチ栽培（以下、NARO S. マルチ）を開発し、実施方法を取りまとめた標準作業手順書を作成したのでその概要を紹介します。

☆ 技術の概要

1. NARO S. マルチは、地表を覆うマルチと併せて、専用の資材（NARO S. シート：ポリエチレン製、厚さ 1.5mm×幅 50mm×長さ 30m）で樹列間の土壌を仕切り、防水・防根を確実にする技術です。併せてかん水設備を導入することで乾燥ストレスの調節を行います（図）。
2. NARO S. マルチを導入することで高品質果実の指標となる糖度 12 度以上の果実を安定して生産できます（表）。

図 NARO S. マルチの模式図

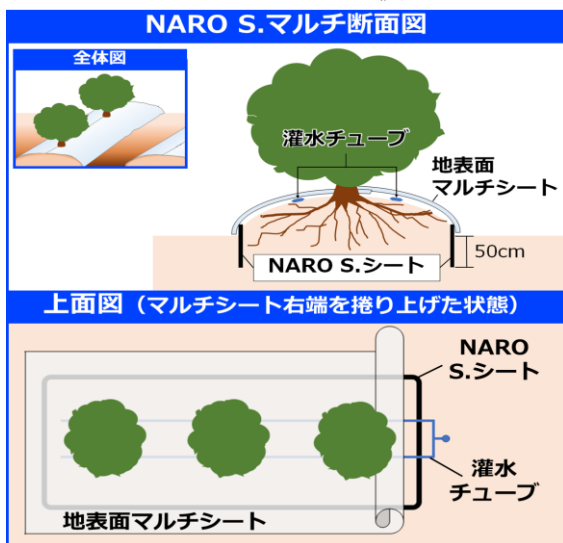


表 現地実証園における NARO S.マルチ導入後の収穫時の果実糖度

生産者系統	処理区	糖度 (Brix%)
A氏 普通温州 ²	S.マルチ区	12.0
	従来マルチ 有意性 ^x	10.7 **
B氏 中生温州 ³	S.マルチ区	12.1
	従来マルチ 有意性	11.2 **
C氏 普通温州 ³	S.マルチ区	12.6
	マルチなし 有意性	9.2 **

²2018年11月20日にサンプリング

³2019年11月20日にサンプリング

^x**は1%で有意差あり

☆ 活用面での留意点

1. NARO S. マルチの導入により、高品質果実の安定生産が期待できます。
2. NARO S. シートは、JA、日本園芸農業協同組合連合会（日園連）、（株）エーワン新潟で購入できます。
3. 本標準作業手順書は以下のホームページで公開しています。
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/SOP21-302K_S20220203.pdf
4. 詳細は、農研機構問い合わせフォーム (<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>) にお問い合わせください。